

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30～18:45)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	計 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画	利用者・家族との関わりをさらに多くし、話しやすい環境作りを行う。 スタッフの取り組んだことを評価し、良い所は全員が共有していく環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者・家族と関わりを増やすことは一定程度できたし、環境作りにも取り組み良い初期支援はできた。特に初期であることを意識しての色々な試みについては概ね情報共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5	4	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	5	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	6	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネの情報整理が上手くいっており、事前訪問や面談の結果については利用開始前にスタッフ共有の態勢は確立している。 初回から数回にかけての利用段階ではスタッフの課題意識が整っており事前情報の追加や修正などを積極的に行い、利用者・家族ニーズの把握と、安心して気兼ねのない利用の流れを作った。	
できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
多人数の在籍職員が複雑な勤務形態の中でケアする為、事前情報や、追加・修正の情報についての周知にやや時間がかかり、ケアのきめ細かさにはばらつきがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
文字による情報共有の習慣を確立するとともに、掲示ボードやノートなどの一元化を図る。 多様な勤務形態を見直し、申し送り体制の整理を行う。 本人の希望と家族の希望との違いにも気付けるような関係づくりを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30~18:45)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	6 人	2 人	12 人

前回の改善計画	ミーティングなどで個別検討を数名単位で行い、ケアマネからの情報とスタッフが知り得た情報を共有して、利用者の希望に沿ったケアが行えるようにし、また共有ノートの確認サインが必ず行われるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	個別検討や情報提供は行ってきたが、情報取得の確認 (ノートへの確認サインなど) については不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	5	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	4		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	3	2	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	5	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
少人数に対するケアという事でスタッフの目が入りやすいため、日々のケアの中で本人の目の希望に沿うことはほぼできてきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
中長期的な本人の希望については認知症などのため家族からの話を中心に理解・判断することが多く、スタッフのコミュニケーション力のさらなる向上が必要であった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の希望など、本人の意思を把握する技術と日ごろの感性の向上のための研修を継続する。 実行した「本人の希望に沿った」と思われるケアをミーティングや日常の業務の中で発言して振り返り、また引き継ぐ。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30~18:45)
3. 日常生活の支援	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	5 人	1 人	1 2 人

前回の改善計画	本人の変化について気付き、迅速に対応する。共有ノート（連絡ノート）や書面にて共有し、情報に対する意識を強くもってケアにあたる。 不明瞭な所は必ず確認をとる。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の体調変化には早く気付き、情報伝達や処置もよくできたが、気持ちの変化の把握についてはなお努力が必要であった。 情報の重要性についての意識は確立しているが伝達や保管についての技術はなお向上の余地を残した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		4	4	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	3	1		1 2
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	5	1	1 1
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	4	3		1 0
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	2	1	1 0

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
一般的な研修や、業務中での技術継承が元になって熟練度が上っているため、日常の生活場面での移動、入浴、食事、排泄、着脱衣、整容など基礎的な介護はできており、日々向上に努めている。	
できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者のこれまでの暮らしぶりについては、個々のスタッフには間接情報が多いためある程度は把握できているが、実感としての理解や、それに沿った日常生活への支援は本人・家族のニーズとずれが生じていたのではないかと不安が残った。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
より多くのスタッフが利用者の家庭を訪問したり、家族と接したりする機会を増やし、直接これまでの暮らし方を体感するよう日々の訪問や送迎の担当のローテーションを見直す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30～18:45)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	5 人	1 人	11 人

前回の改善計画	家族との関係については積極的に関わりが持てるものの、地域資源については無知である。今後は地域資源について調査し、利用者のために必要なものを積極的に活用していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源について管理者やケアマネジャーは詳しくなってきたが、介護職などには浸透しきれなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	5	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5	3		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	5	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	3	4	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族との関係を維持するという基本的な前提がスタッフ全体で了解されているため、家族との日常の事務連絡や送迎時の会話、連絡帳などでのやりとりにおいて、本人と家族の両方に事業所の支援の眼が向けられている事を積極的に表現してきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
大きな支障が生じたわけではないが、地域資源の事業所全体としての把握が十分ではなかった。相談援助職と介護職という職種間の着眼点の違いによるものと考えられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
H30 年度の「できている点」を継承することと、同業者の連絡組織（小規模多機能型居宅介護部会）や、運営推進会議などで得られた地域のイベントや制度の動向、資源情報を事業所全体で把握し、利用者や家族にも情報提供し、また活用を提案していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30~18:45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	6 人	1 人	12 人

前回の改善計画	自分たちの事業所のみで利用者を支えるのではなく、地域の資源について調べ、活用できるものを積極的に活用していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	様々な関わりの中から得られた地域資源の情報は活用してきたが、大きなケアの計画の中でその活用が個々の利用者や家族にとってどのような意味を持つのかについて、事業所全体での共有がまだ十分ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	4	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5	2		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	4	4	1	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	3	4		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々のかかわりや家族からの情報により、本人の「いつもとちょっと違う」や「この頃ちょっと違う」はよく掴め、サービスの組み合わせなどの調整はケアマネを中心に柔軟に行ってきた。小規模というこのサービスの特徴が活かしている結果であると思われる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の変化に即応した支援は概ねできてきたが、その理由や根拠について全スタッフの共有に至らず次のステージに移ってしまうことも見られた。複雑な勤務形態の中での情報共有の仕組みが未成熟なためと思われる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スタッフ間の情報共有や意思統一を強化する為にミーティングの開催方法を工夫するなどの改善とともに、ケース担当などの仕組みづくりなども試行し、検討してみる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30～18:45)
6. 連携・協働	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	4 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画	地域行事には参加出来ているので引き続き継続していきたい。 他事業所との交流を行った際は情報提供する体制を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	他の事業所との交流は、同業者の連絡組織（小規模多機能型居宅介護部会）を中心に行い、事業所や地域の情報の提供に努め有益であったが、受け取った情報の内部浸透には難があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	4	4	2		10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	2	1		8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	4	3	1		8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	3	2		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネジャーの努力により他のサービス機関などとの個別の担当者会議はよく開催できている。地域のイベントにも参加し、またバザーの開催など事業所からの発信も行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
他のサービス機関などとの担当者会議に家族の出席が少なく課題となっているが、開催時間の工夫などには限界も感じられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の様々な催し物には引き続き積極的に参加する。 オレンジカフェに来訪する登録者以外の地域住民などに対する支援を継続する。 またカフェの運営スタッフとしてかかわる近隣事業所の職員や、ボランティアとしての地域住民との信頼関係を強化し、地域における気軽な相談窓口として一層認知されるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30~18:45)
7. 運営	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画	事業所を多くの方に知ってもらいたい。その為に、地域の方との交流を積極的に行いより身近な事業所と認識してもらう。(例) 消防訓練に参加してもらうなど。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域交流は様々な機会をつうじて行い、事業所の存在についての認知度は上がっているが、事業所の目的などについての理解は一部の住民に留まっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		3	4	3	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	3		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	4		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	2	1	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族からの要望、意見、苦情などは日々のケアや全体の運営の中に反映している。時間がかかる場合もあるが、小規模多機能型という事業所としての小回りの良さが現れたものと思われる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域に必要とされている事業所としての自負はあるが、それが返ってこちらの方から意見や苦情を聞きに行くという姿勢を弱くしていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域住民に事業内容をより詳しく伝えたり、馴染みの関係を深めて共に地域の直面している課題を見出すために、利用者のプライバシーに配慮しつつ、近隣住民などを対象としたオープンハウスなどを行い、また運営推進会議の委員に見学会を開催する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30～18:45)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画	リスクマネジメントは重要なことであり、スタッフ間の意識の違いや、安易さから事故が起きる事が多い。ミーティングを通して十分に話し合い共有していくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスクに対する意識の更新は随時行い、物的な事故などのリスクだけではなく、個人情報の流出のような形のない事故に対しても防止が必要なことなどの意識は高まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	6	2		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	2	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	6	2			8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	2		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
社内の全体研修や、ミーティングと併せての研修の他、外部研修や同業者の連絡組織（小規模多機能型居宅介護部会）の定例会にも積極的に参加し、スキルを上げてきた。スタッフの研修に対する意識が年々上がっていることが研修の効果につながっていると思われる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ヒヤリ・ハットシートの記載はできているが、その分析などは遅れていると言わざるを得ない。当面の対策に手一杯というのが実情である。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
外部での研修に参加したあと、その成果を法人や事業所全体で共有してサービスの質の向上につなげるため、研修発表会などを開催する。また、参加しやすい研修とするため、法人の記念日行事などに合わせた形での研修会を継続する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 3 月 1 日 , 6 日 (17 : 30～18:45)
9. 人権・プライバシー	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	5 人	1 人	人	12 人

前回の改善計画	スタッフ個々の認識に違いがないように、虐待についての研修を定期的に行う必要がある。 利用者が安心して生活が送れるように、行動制限等の言葉が出ないよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待・拘束に関する研修は特に多くの時間を割いて実施したが、利用者に対する言葉による行動制限や、幼似的な扱いも虐待・拘束であるという意識づけが進んだと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	1		12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	5	5	1		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	2			7
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	5	3		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
来客としての接遇やプライバシーへの配慮は、研修や、スタッフ間での日常的な相互研鑽、上司からの指導などにより向上している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
基本的な接遇技術は必要なレベルを維持しているが、多忙な場面では声の大きさ、言葉のトーンなどで改善を要することもあった。 急がないケアという基本が時として忘れられるようである。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束や虐待、プライバシー無視などは、意志能力の低い人に対するスタッフの上から目線が潜在的な原因となっていることが多いため、認知症ケアについて引き続き研鑽を重ねる。	